

2017 年度コラボミュージアム作品づくりコンテスト

小学校・中学校部門 アピールシート

平成 30年 1月 23日

所属名 : 東京都 渋谷区立代々木山谷小学校

実践学年組: 5 年 1組・2組

氏名: 細川 卓郎

教科	理科 (夏休みの自由研究)
実践期間	平成28年7月21日 ~ 平成28年8月31日
実践タイトル (35 文字以内) 進捗がわかる! デジタル理科自由研究シート	
実践の目的 ・ 児童が研究の進め方やアイデアについて参照する。 ・ 指導者が児童の研究経過を把握し、方向性について助言することができる。 ・ 児童がお互いの作品について知り、参考にしたり評価し合ったりする。	
実践のポイント・工夫 ・ 1人1枚の実験レポート用のページを作り、お互いにいつでも見合えるようにした点 ・ コメント機能でお互いの研究について評価することができるようにした点 ・ 初めに作成例や実験の流れについて記載したページを作り、児童が自主的に実験を進められるようにした点 ・ アドバイスふせんで指導者が実験の方向性について適宜助言した点	
実践内容 (簡単に) 毎年、夏休みの宿題を児童に出していますが、夏休み明けに提出される作品の中には、研究の流れが途中で大きく変わってしまうものも多くあります。そこで、アドバイスふせんを活用して適宜指導者の助言を入れられるようにしました。テーマに悩む児童には参考資料となるページをリンクに貼り付けました。 実験の様子はタブレット端末のカメラ機能で撮った写真を載せたり、表にまとめたりするなど、コラボノートの機能を活用してまとめさせました。	

(コラボノート)を使用してよかった点を教えてください。
お互いのページを敢えて見合えるようにすることで、刺激を受けて実験方法を変更したり、評価し合ったりする姿も見られました。
条件制御やデータの算出方法について、夏休み中に指導者から何度か助言をすることで、確実に実験結果が出るようになりました。